

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス



平成 28 (2016) 年 3 月 24 日

第 11 号

発行 株式会社ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供しています。

中央教育審議会
総則・評価特別部会

各教科で育成すべき資質・能力 について議論——全体整理の段階へ

●各教科の検討状況をもとに意見交換

中教審・教育課程部会に設置された総則・評価特別部会（主査：羽入佐和子・お茶の水女子大学前学長）の第 6 回会合が、3 月 14 日、文部科学省において開催された。

昨秋より教科別ワーキンググループ（以下、WG）等の審議が並行して進められてきたが、今回初の試みとして各 WG 等の主査またはそれに代わる委員が総則・評価特別部会に参加、教科で育成すべき資質・能力に関する現在までの検討状況を報告した。

今回報告を行ったのは、「社会・地理歴史・公民」「芸術」「体育・保健体育、健康、安全」「生活・総合」の各 WG と「高等学校の地歴・公民科科目の在り方に関する特別チーム」「言語能力の向上に関する特別チーム」「特別支援教育部会」の 7 グループ。算数・数学、理科、特別活動など残りの WG も次回以降の総則・評価特別部会で報告を行う予定だ。

本紙 10 号で既報のとおり、総則・評価特別部会での議論の軸足は、各教科の特性と資質・能力との関係の整理へと移ってきたところだ。今回の会合でも、資質・能力の育成と学習の深まりの鍵として、各教科等の特性に応じ育まれる「見方や考え方」（そ

の教科ならではの視点や思考の枠組み）に着目することを冒頭確認したのち、各 WG の報告内容をもとに意見交換が進められた。

「教科固有の見方・考え方は、その教科がなぜ必要なのかという存在意義につながるものであるため、今後簡明に打ち出していくべき」「教科ごとの棲み分け・分担より教科間の重なりをあえて保障していくことが大切。例えば『比較する、関連付ける』力は各教科で出てくるが、重なりがあるからこそ汎用性のある力として深めていける」などの意見が出た。また、教科ごとに異なっている資質・能力の示し方（～する力、～すること、～の技能等）を統一する時期に来ているとの指摘もあり、総則・評価特別部会及び教科別 WG の検討内容について、今春をめどに一定の整理が行われる見込みだ。

●高大接続改革への要望も

今回の会合では、高大接続システム改革会議最終報告案が資料として配布されたこともあり、次期指導要領の理念が画餅に帰すことがないように大学入試改革への要望が相次いだ。現状の報告案では「中央教育審議会の検討においては（中略）各教科の本質に根ざした見方や考え方につながる重要な概念を中心に重点化や構造化を図ることが重要であると議論されていることも踏まえ、『大学入学希望者学力評価テスト（仮称）』においても、単なる知識の量や細かな知識の有無のみにより評価を行うことがないように、出題の仕方の工夫を」との一文が盛り込まれたところだ。高大接続システム改革会議最終報告は 3 月 25 日にとりまとめられる予定。

幼児期の特性に配慮した 指導の改善充実について意見交換

中教審・幼児教育部会（主査：無藤隆・白梅学園大学教授）の第5回会合が3月7日開催された。同部会ではこれまでに、幼児期の発達や学びの特性を考慮した上で、「論点整理」が示した資質・能力の三つの柱について、

- 個別の知識や技能の基礎（遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか）
- 思考力・判断力・表現力等の基礎（遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなどを使って、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか）
- 学びに向かう力、人間性等（どのような心情、意欲、態度などを育み、よりよい生活を営むか）

と独自の表現で捉え直し、健康・人間関係・環境・言葉・表現の現行5領域を生かしながら、遊びを通した総合的な指導によりこれらの資質・能力を一体的に育み小学校へつないでいくという次期教育要領の大枠のイメージを共有してきたところだ。

第5回会合では、アクティブ・ラーニングの視点（深い学び、対話的な学び、主体的な学び）を踏まえた指導の改善充実について、5歳児の具体的な活動例をもとに検討が行われた。幼児の自発的な活動としての遊びの中では、見る・聞く・比べる・気付く・伝え合い・協力・葛藤・見通し・好奇心・達成感など様々な学びの過程が一体的に展開していること、それらを関連付けた学びの広がり意識した指導計画の工夫や環境構成が望まれることなど、幼児期特有の課題について活発に意見が交わされた。次回は3月30日開催予定。



3月 ◆24日 世界結核デー ◆25日 電気記念日 ◆26日 薬聖忌（ペトローベンの忌日） ◆27日 さくらの日 ◆28日 スリーマイル島原発事故(1979)／シルクロードの日 ◆29日 マリモの日 ◆30日 アニメ『巨人の星』放送開始(1968) ◆31日 オーケストラの日

4月 ◆1日 エイプリル・フル ◆2日 国際こどもの本の日 ◆3日 いんげん豆の日 ◆4日 あんぱんの日 ◆5日 横町の日 ◆6日 城の日 ◆7日 世界保健デー ◆8日 灌仏会／忠犬ハチ公の日 ◆9日 大仏の日／フォークソングの日 ◆10日 教科書の日 ◆11日 メートル法公布記念日 ◆12日 パンの日 ◆13日 喫茶店の日 ◆14日 椅子の日 ◆15日 ヘリコプターの日

●●○3/24～4/15生まれの著名人（敬称略）○●●

3月 原田泰造(24日)、綾瀬はるか(24日)、橋本治(25日)、エルトン・ジョン(25日)、ダイアナ・ロス(26日)、京極夏彦(26日)、遠藤周作(27日)、松本孝弘 [Bz] (27日)、松雪泰子(28日)、的場浩司(28日)、西島秀俊(29日)、鈴木亮平(29日)、ゴッホ(30日)、千原ジュニア(30日)、朝永振一郎(31日)、館ひろし(31日)

4月 林真理子(1日)、高橋克実(1日)、アンデルセン(2日)、竹山隆範 [カンニング] (2日)、金田一春彦(3日)、エディ・マーフィー(3日)、二葉亭四迷(4日)、山本五十六(4日)、吉田拓郎(5日)、鳥山明(5日)、秋山幸二(6日)、宮沢りえ(6日)、竹村健一(7日)、ジャッキー・チェン(7日)、桃井かおり(8日)、DAIGO(8日)、佐藤春夫(9日)、山下智久(9日)、永六輔(10日)、さだまさし(10日)、金子みすゞ(11日)、武田鉄矢(11日)、広瀬香美(12日)、藤浪晋太郎(12日)、吉行淳之介(13日)、宮尾登美子(13日)、アン・サリヴァン(14日)、大友克洋(14日)、レオナルド・ダ・ヴィンチ(15日)、田原総一郎(15日)

●ご注文・お問い合わせ先

株式会社 ぎょうせい
フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Webサイト <http://gyosei.jp>
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者

子どもの スマホ・トラブル対応ガイド

全国 web カウンセリング協議会理事長 安川雅史 [著]
A5判・定価(本体2,000円+税)

「うちの子・うちの生徒は関係ない」と思っていませんか?

「スマホ依存」「LINEいじめ」「悪質投稿」「リベンジポルノ」——スマホにハマる今どき子ども事情と知られざるトラブルの実態、事前・事後対応策を一冊に凝縮しました。情報を正しく活用する力は、これからの社会を生き抜く子どもたちに求められる必須のスキル。指導のヒントが満載です。

■3月末刊行。ご注文承り中!



知っていますか?
スマホの危険と対処法

【スマホ依存症(LINEいじめ)・悪質投稿(リベンジポルノ)——スマホにハマる今どき子ども事情と知られざるトラブルの実態、事前・事後の対応策を一冊に凝縮】

●桜前線北上中。入学式のその日まで桜の花が続きますように。●28年度はいよいよ次期指導要領告示の年。引き続きご愛読よろしくお願ひいたします。●「きょういくプレス」無料メール配信サービスのお申し込みを承り中です。右のQRコードから簡単にお手続きいただけます。この機にぜひお申し込みください!

